

ICON

studio
monitor



SX-3A

スタジオ・シリーズ3.5インチ・アクティブ・スタジオ・モニター・システム

SX-4A

スタジオ・シリーズ4.5インチ・アクティブ・スタジオ・モニター・システム

SX-5A

スタジオ・シリーズ5.5インチ・アクティブ・スタジオ・モニター・システム

SX-6A

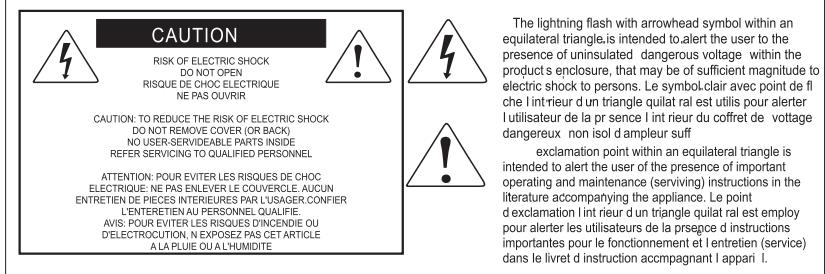
スタジオ・シリーズ6.5インチ・アクティブ・スタジオ・モニター・システム

SX-8A

スタジオ・シリーズ8.5インチ・アクティブ・スタジオ・モニター・システム

ユーニバーサル





お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがつた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

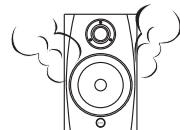
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

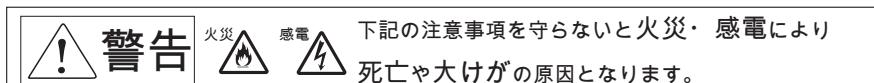
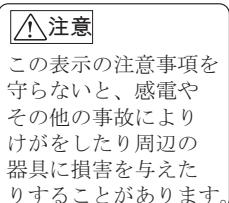
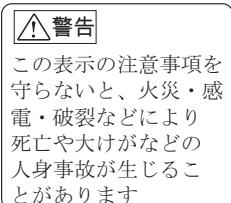
- ① アイコンサービスセンター
- ② 電源コードを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーадapterや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

雷の際には使用しない

雷の際には、落雷を避けるため、すぐに…



持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップに手を通したまま本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となります。

持ち運びの際は、手で固定するか、ポケットに入れるなどしてください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。・ 熱器具に近づけない。加熱しない。・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に交換をご依頼ください。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コード、AVケーブルやUSBケーブルを抜くケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。



はじめに	1
同梱品	1
お客様のアカウントでICON Pro Audio 製品をご登録ください	2
機能	3
フロント・パネル・レイアウト	4
リヤ・パネル・レイアウト	5
SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムのセットアップ	6-7
SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムについて	6
SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの配置	6
モニター・スピーカーの方向	7
反射	7
SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの接続	8
クイック接続	8
SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの操作	9-10
SXシリーズ・コントロール&コネクター・パネル	9
SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの電源	9
ハム対策	9
リヤ・パネル：入出力端子	10
製品仕様	11
修理について	12

はじめに

ICON SXスタジオラージダイアフラムコンデンサーマイクをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。



本書には、SXの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

次のリンクのサイトから製品を登録してください：www.iconproaudio.com/registration:

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.iconproaudio.comにてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

同梱品

- SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システム1台
- 本ユーザー・マニュアル1冊
- 電源ケーブル1本
- 「Vasorb™」モニター・ゴム足4個
(一部地域向けのSX-3AおよびSX4Aを除く)

お客様のアカウントでICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下のQRコードをスキャンします。



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

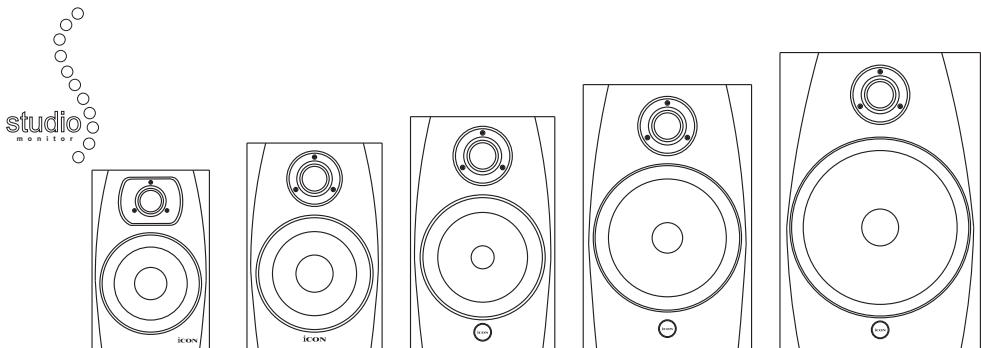
既存ユーザーの場合： ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合： 「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

機能

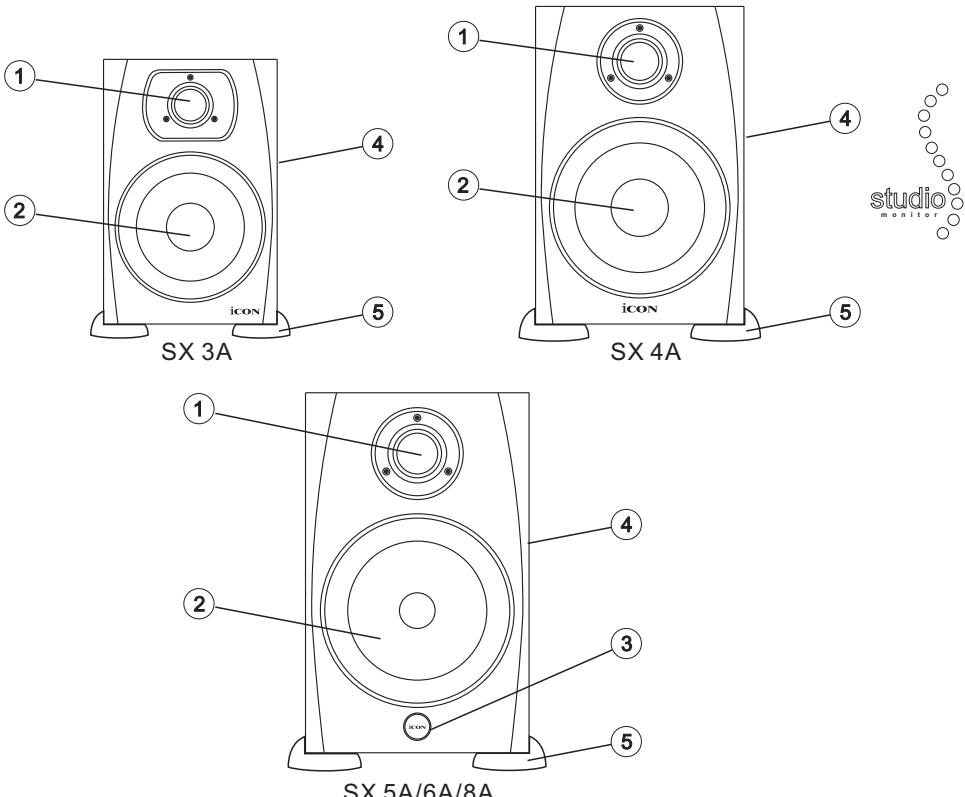


ICONのSXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムは、耳に心地よく原音に忠実でスムーズな音楽再生を提供します。主な機能：

- コンパクトでパワフル、原音に忠実な音楽再生。
- 正確なモニターを可能にするポート・チューニング式エンクロージャーを採用した、録音スタジオ、ポスト・プロダクション、マルチメディア用2ウェイ・アクティブ・スタジオ・レフアレンス・モニター。
- 滑らかでスイートな高音再生をお届けする、ネオジム・マグネット採用の磁性流体・ヒートシンク併用冷却式1インチ径シルク・ドーム・ツイーター。
- コポリマー・ブチルゴム・エッジを採用して引き締まった低音再生を可能にしたウーハー。
- 低音および高音ドライバーを駆動する内蔵バイアンプ・パワー・モジュール。

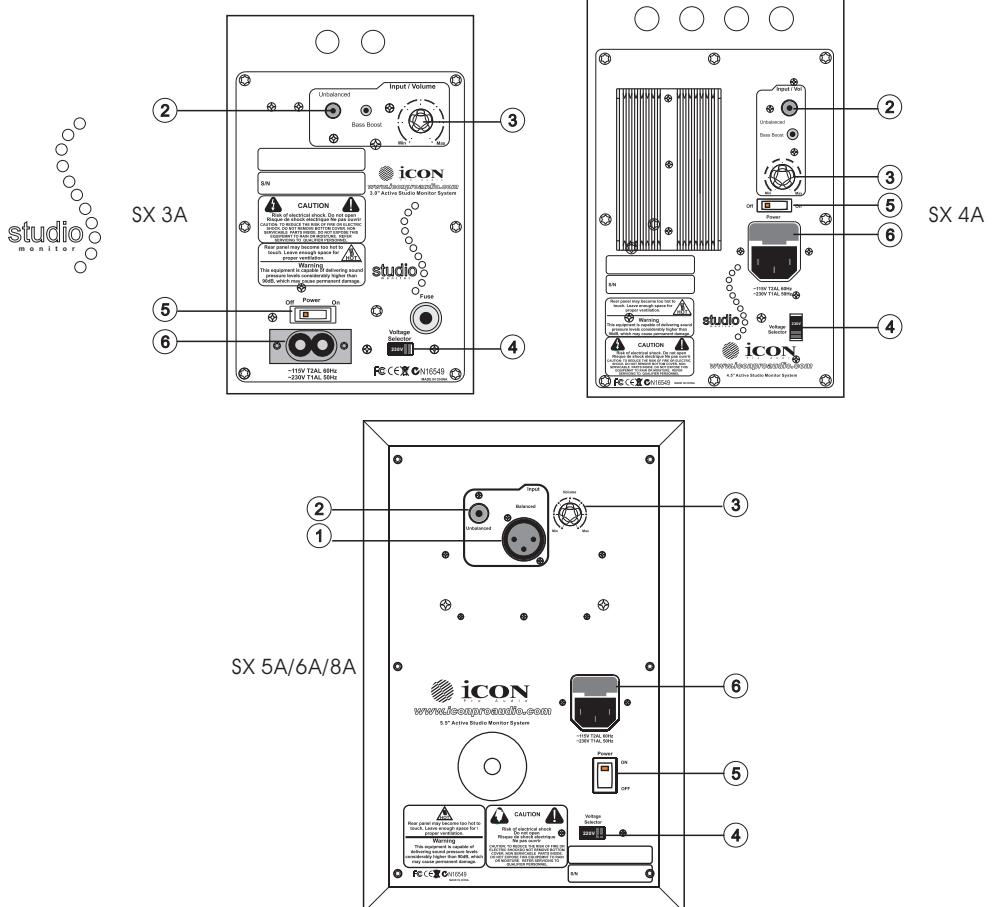
SX-3A	-	高音：10W / 低音：15W
SX-4A	-	高音：15W / 低音：25W
SX-5A	-	高音：30W / 低音：60W
SX-6A	-	高音：40W / 低音：80W
SX-8A	-	高音：60W / 低音：120W
- 低音から高音までリニアなレスポンスを約束する、マルチ・ポール設計採用のアクティブ・クロスオーバー。
- -10 dBVまたは+4dBの出力を持つシグナル・ソースを簡単にすばやく接続できる、XLR平衡入力端子および不平衡RCAピンジャック入力端子。(SX-5A/6A/8Aの場合。SX-3AおよびSX-4AではRCA入力のみ)
- コンピューター用CRTモニターの近くでもクリーンな再生を約束する、マルチメディア用A/Vシールド。
- MDFを採用した筐体。
- 「Vasorb™」モニター・ゴム足を付属。

フロント・パネル・レイアウト



- ① **1インチ径シルク・ドーム・ツイーター**
磁性流体・ヒートシンク併用冷却方式により高出力を可能にしたネオジム・マグネット採用シルク・ドーム・ツイーターによって、滑らかな高音特性を実現しました。
- ② **ウーハー**
ヘビーデューティ型広帯域低音トランスデューサー。
- ③ **電源表示LED**
ユニットに電源が入って使用可能な状態になると、オレンジ色のLEDが点灯します。
- ④ **仕上げ**
高耐久性PVCコーティング。
- ⑤ 「*Vasorb™*」モニター・ゴム足 (一部地域向けのSX-3AおよびSX4Aを除く)
ICON大型ゴム足により、音圧レベルが高くてもエンクロージャーを安定に設置できます。

リヤ・パネル・レイアウト



- ① XLR平衡入力端子
標準XLRケーブルを使用して、ライン・レベルの平衡入力を接続します。
(SX-3AとSX-4Aには装着されていません)
- ② 不平衡RCAピンジャック入力端子
-10dBVの不平衡出力を持つ機器を接続します。
- ③ 音量調整
モニター・システムの出力レベルを調整します。
- ④ 電源電圧セレクター
入力電源電圧を110Vまたは220Vに切り替えることができます。
- ⑤ 電源スイッチ
電源をオンオフします。
- ⑥ AC入力端子
付属のIEC電源ケーブルを接続します。

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムのセットアップ

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムについて

SXシリーズ・アクティブ・モニター・システムは、3.5インチ径、4.5インチ径、5.5インチ径、6.5インチ径または8.5インチ径のコポリマー・ウーハーと、磁性流体冷却式ボイス・コイルとネオジム・マグネット採用の1インチ径シルク・ツイーターを搭載した、カスタム設計のニア・フィールド・スタジオ・モニターです。リニアな周波数特性と位相特性を実現すべく、高品質部品を使用して設計されたクロスオーバーが採用されています。SXシリーズのエンクロージャーはMDF製です。低域の伸びを拡張するベント・ポートと、低乱流構造を採用したことにより、全周波数域でインピーダンスに影響を与えずに、ウーハーの自由な動きを実現しています。エンクロージャーの背面には、XLR平衡入力端子および不平衡RCAピンジャック入力端子を含む各種の入力端子が装着されています。これらの入力端子は、各モニター・スピーカーを駆動するSXシリーズ内蔵バイアンプ・パワー・モジュールに接続されています。内蔵パワー・アンプのレベルを調整する音量調整など、プリアンプ調整機能も完備しています。

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの配置

ルーム・アコースティックの影響を最小限に抑えることができるため、スタジオの規模に関係なく、エンジニアの間では、ニア・フィールド・モニタリングが主流になっています。レフアレンス・モニターをニア・フィールド（リスナーの近く）に配置することにより、ルーム・アコースティックの影響を大きく抑えることができます。

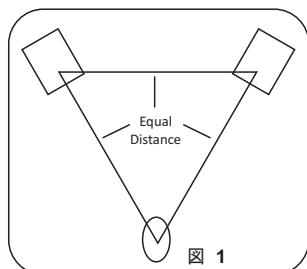


図1

ルーム・アコースティックの影響を評価する際に最も重要な因子は、モニター・エリア周辺の反射面です。反射面には、平らなテーブル表面、鏡、額縁、大きなむき出しの壁面などがあり、ミキシング・コンソールの表面も反射面となります。反射音はすべてリスニング・ポジションに到達しますが、これは直接音よりもわずかに遅れて達するので、その結果、特定の周波数がランダムに打ち消される現象、いわゆる「コーム・フィルタリング」が発生します。反射面をすべて除去できれば、それに越したことはありません。モニター・スピーカーに近い壁面に吸音材を吊るしても、反射を防止することができます。

モニター・スピーカーを配置する際には、「ミキシング・トライアングル」と呼ばれる位置に配置するのが理想的です。この理想的配置では、左右のモニター・スピーカー間の距離がリスナーから各スピーカーまでの距離と等しく、正三角形が形成されます（図1参照）。

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムのセットアップ

モニター・スピーカーの方向

SXシリーズは垂直にも水平にも置くことができます。水平に置く場合、左右のツイーターが外側に来るよう配置してください（図2参照）。これは、ウーハーから出てくる音を結合させてステレオ音像や低音特性を改善する上で重要です。

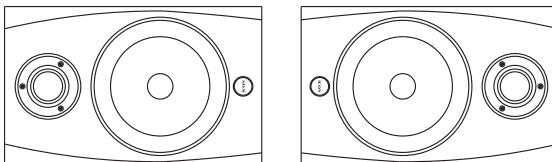
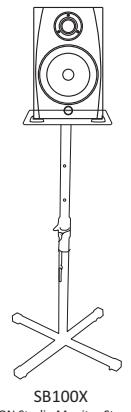


図 2



SB100X
ICON Studio Monitor Stand

反射

モニター・システムは、ミキシング・コンソール表面から音が反射しにくい高さに配置してください（図3参照）。この反射音は直接音よりもわずかに遅れてリスニング・ポジションに届くため、その結果、特定の周波数域で予期しない打ち消しが起こり、周波数平坦度に乱れが生じます。モニター・スピーカーからリスニング・ポジションまでの音波の通り道を直線で結び、最適なリスニング・スポットが得られるように、最も反射が起こりにくい高さを選んでください（図4参照）。ほとんどの場合、理想的な位置は、ミキシング・コンソールのメーターブリッジの背後で、それよりもわずかに高い位置になるはずです。

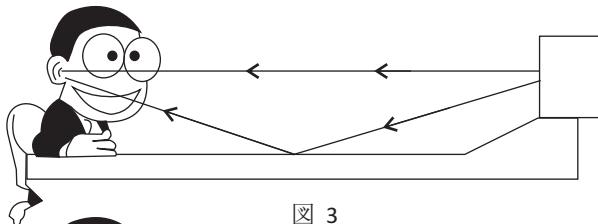


図 3

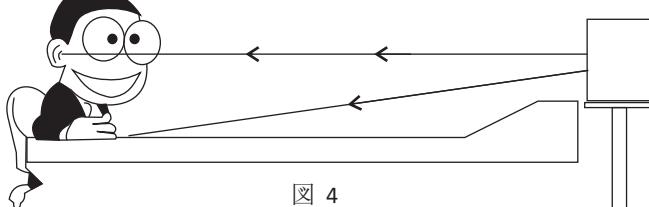


図 4

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの接続

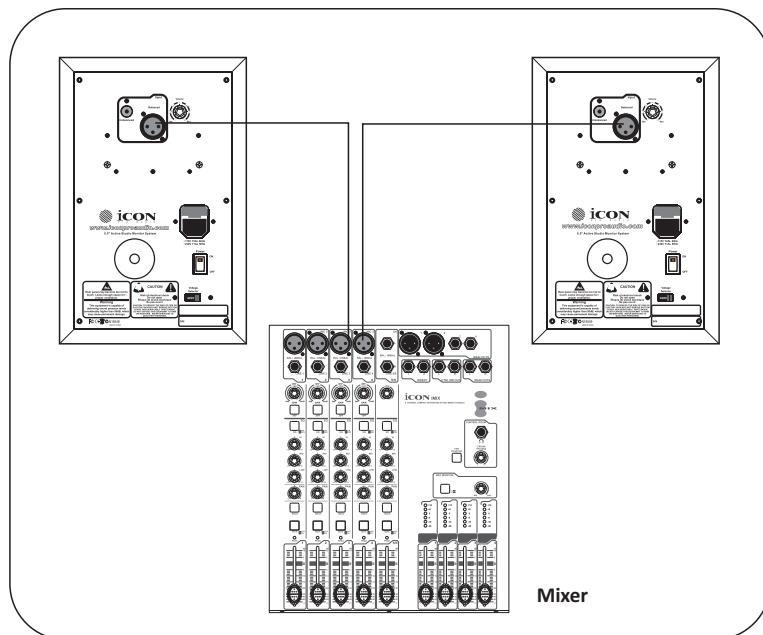
クイック接続

注意：コンセントに接続して電源を入れる前に、パワーアンプ（とパワー・モニター）に関する「最後にオン、最初にオフ」の原則を守ってください。システムの電源を入れる際には、配線がすべて接続されていることを確認してから、ミキサーなどの外部装置の電源を入れ、最後にSXシリーズ・モニターの電源を入れてください。電源を切る際には、まずSXシリーズ・モニターの電源を切ってから、外部装置の電源を切ってください。



SXシリーズ・モニターは、リヤ・パネルにある、-10dBu レベル信号用不平衡RCAピンジャック、または、+4dBu レベル信号用平衡XLR入力端子の2個のオーディオ入力端子のいずれかを使って接続することができます。（SX-3AとSX-4Aを除く）

下の指示や図に従って、標準レコーディング・コンソール（ICONのUmixシリーズ・ミキシング・コンソールなど）のコントロール・ルーム出力を接続してください。



- ミキサーのマスター出力を最低まで下げます。
- ミキサーの左コントロール・ルーム出力を左モニター・スピーカーのライン入力に接続し、ミキサーの右コントロール・ルーム出力を右モニター・スピーカーのライン入力に接続します。
- SXシリーズ・モニター・スピーカーの入力ボリュームを2時の位置にします。
- ミキサーからCDなどのオーディオ信号を流し、快適な音量となるまでコントロール・ルーム出力を上げてください。

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの操作

SXシリーズ・コントロール&コネクター・パネル

電源ケーブルとオーディオ信号は、どちらも、SXシリーズ・モニター・スピーカーのリヤ・パネルに接続します。リアパネルには、出力レベル調整用音量つまみもあります。リヤ・パネルのコントロールや接続端子について、以下で説明します。

studio
monitor

SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの電源

SXシリーズ・モニター・スピーカーはパワーアンプを内蔵したアクティブ・スタジオ・モニターなので、電源コンセントに接続しなければ使用できません。電源スイッチがオフになっていることを確認してから、付属のIEC電源ケーブルを接続します。

ハム対策

電源ケーブルを接続したら、本器電源ケーブルまたは交流電源延長ケーブルと信号入力ケーブルが平行にならないことを確認してください。これにより、交流電源によって発生するハムが低減されます。電源ケーブルと信号入力ケーブルを90度に交差させると、ハムが発生しにくくなります。SXシリーズ・モニター・スピーカーの平衡XLR入力端子は、平衡入力回路のコモン・リジェクション作用（誘導ハムの位相が互いに打ち消される）によって、ハムの発生が抑えられています。

① 電源スイッチ

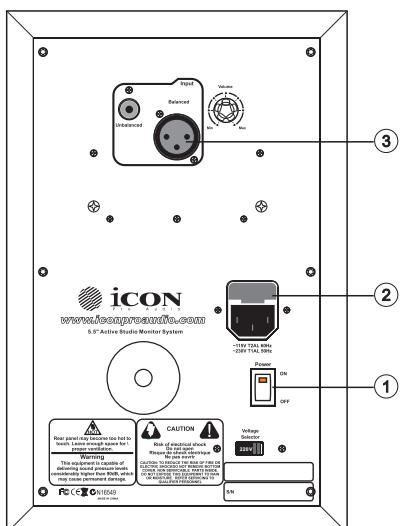
電源をオンオフします。

② AC入力端子

付属のIEC電源ケーブルを接続します。

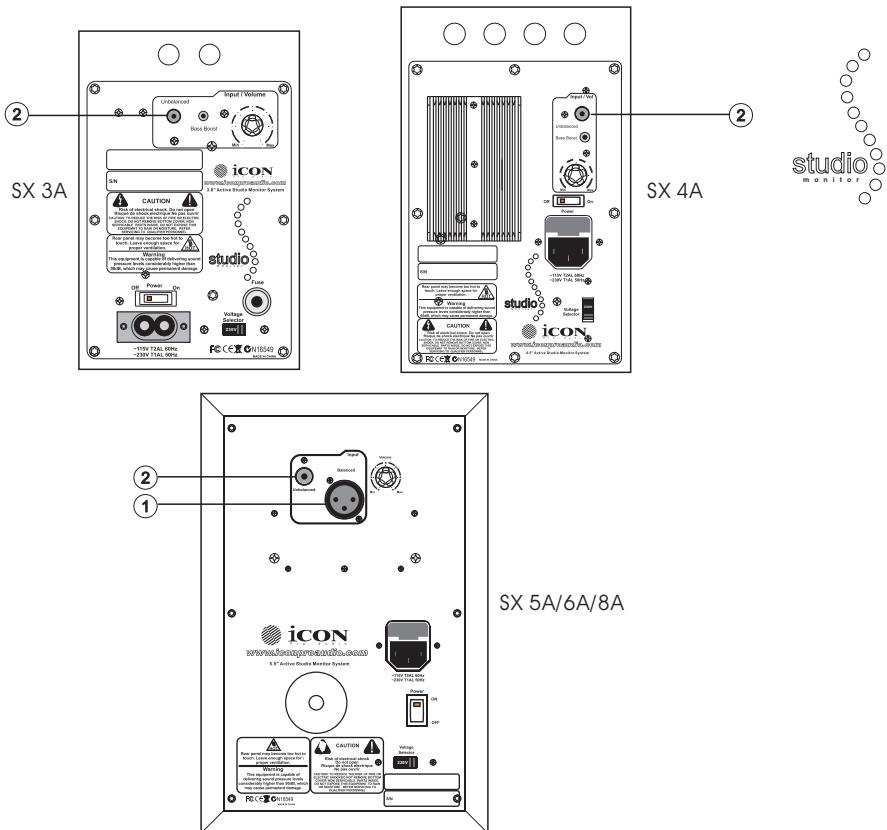
③ 音量調整

SXシリーズ・モニター・スピーカー全体の出力レベルが調整できます。本器を初めて使用する場合、音量調整を一番下まで下げておいてください。快適な音量となるまで徐々に音量調整を上げてください。



SXシリーズ・アクティブ・スタジオ・モニター・システムの操作

リヤ・パネル：入出力端子



SXシリーズ・モニター・スピーカーには、レコーディング・コンソール、ハードディスク・レコーダー、CDプレーヤー、コンピューター・オーディオ・インターフェースなどのオーディオ機器を簡単に接続することができる、各種入力端子が装備されています。SXシリーズ・モニター・スピーカーのオーディオ信号入力端子および電源入力端子について、以下で説明します。

① XLR平衡オーディオ入力端子

SXシリーズには、+4dBuの平衡または不平衡ライン・レベル信号が入力できる、XLRメスコネクターが装着されています。お使いのミキサーに平衡出力用XLRコネクターが装着されている場合、標準XLRケーブルを使って、ここに接続することができます。

(SX-3AとSX-4Aには装着されていません)

② 不平衡RCAピンジャックオーディオ入力端子

RCAピンジャック入力端子には、-10dBuの不平衡信号を出力する機器を接続します。

	SX-3A	SX-4A	SX-5A	SX-6A	SX-8A
System:	Two-way Active Nearfield monitor	Two-way Active Nearfield monitor	Two-way Active Nearfield monitor	Two-way Active Nearfield monitor	Two-way Active Nearfield monitor
Frequency response:	60Hz to 21KHz	45Hz to 21KHz	40Hz to 21 KHz	35Hz to 21 KHz	35Hz to 21 KHz
Input level for 85dB SPL @1m:	0dBu RMS @ 0dB setting	-1.4dBu RMS @ 0dB setting	-1.5dBu RMS @ 0dB setting	-1.5dBu RMS @ 0dB setting	-1.5dBu RMS @ 0dB setting
Power consumption:	Idle: 10W / Max: 35W	Idle: 10W / Max: 60W	Idle: 10W / Max: 110W	Idle: 10W / Max: 140W	Idle: 10W / Max: 170W
Amplifier power:	HF:10W / LF: 15W	HF:15W / LF: 25W	HF:30W / LF:60W	HF:40W / LF:80W	HF:60W / LF:120W
Bass principle:	Bass reflex	Bass reflex	Bass reflex	Bass reflex	Bass reflex
Vent tuning frequency:	60Hz	55Hz	45Hz	40Hz	35Hz
Internal cabinet volume:	1.7 liters	3.5 liters	8 liters	12 liters	18 liters
Crossover frequency:	3.2KHz	3.0KHz	2.7KHz	2.6KHz	2.5Khz
Cross slope:			24dB/oct	24dB/oct	24dB/oct
Tweeter:	25mm 1" silkscreen dome plus heat sink and ferrofluid cooling	25mm 1" silk dome plus heat sink and ferrofluid cooling	25mm 1" silk dome plus heat sink and ferrofluid cooling	25mm 1" silk dome plus heat sink and ferrofluid cooling	25mm 1" silk dome plus heat sink and ferrofluid cooling
Woofer:	89mm 3.5" NRSC paper cone and CU-cap on pole piece	114mm 4.5" NRSC paper cone and CU-cap on pole piece	127mm 5.5" PPB cone with aluminum short circuiting ring and rigid cast aluminum basket	152mm 6.5" PPB cone with aluminum short circuiting ring and rigid cast aluminum basket	203mm 8.5" PPB cone with aluminum short circuiting ring and rigid cast aluminum basket
Weight:	2.8Kg (6.2lb)	4.3Kg (9.5lb)	6.5Kg	10Kg	13Kg
Dimensions (W x H x D):	(120 x 180 x 210)mm (4.7 x 7.1 x 8.3)inch	(150 x 230 x 230)mm (5.9 x 9.1 x 9.1)inch	(180 x 300x 275)mm (7.1 x 11.8 x 10.8)inch	(210 x 320 x 340)mm (8.2 x 12.6 x 13.4)inch	(250 x 370 x 340)mm (9.8 x 14.6 x 13.4) inch

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター(<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>)でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンラインACS(自動カスタマーサポート)でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。



照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudioデバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合:

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください:

香港にお住まいの場合は、

製品をこちらまで返送してください:

ICON (Asia) Corp:

Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

北米にお住まいの場合は、

製品をこちらまで返送してください:

ICON Service Centre

611 Potomac PL Ste 102

Smyrna, 37167-5655 Tennessee.

United States

Tel.: +1 615 540 989

ヨーロッパにお住まいの場合は、

製品をこちらまで返送してください:

Sound Service

GmbH European

Headquarter Moriz-Seeler-Straße

3D-12489 Berlin

Telephone: +49 (0)30 707 130-0

Fax: +49 (0)30 707 130-189

E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。をご覧ください。



天猫官方旗舰店 	抖音号 	哔哩哔哩 	微信公众号 	官方微博
天猫店iconproaudio旗舰店	抖音ICON艾肯	B站ICONProAudio	微信号iCON-PRO	4006311312.114@qq.com

中国地区用户



Twitter



Instagram



Facebook



Youtube

www.twitteer.com/iconproaudio www.instagram.com/iconproaudio www.facebook.com/iconproaudio www.youtube.com/iconproaudio



Website



Support



Dashboard

www.iconproaudio.com

support.iconproaudio.com

iconproaudio.com/dashboard/

www.iconproaudio.com